



現場を見ることの大切さ

ユウパリコザクラの会代表 藤井 純一

今季珍しく三回山に上りました。毎回登る人に木道が悲惨な状態だと聞いていましたが、あそこままでになっているとは思いませんでした。現場主義とはよく言われますが、今回は正しくそれを感じました。

もう何年前になるか忘れましたが、前岳湿原から1400アサツキガ原まで木道設置が行われました。道と森林管理署の分担で、請負業者は地元のエコロジーの基礎工事をしてくれた私の知人の会社でした。以前夕張岳の木道設置工事をしたことがあったようで、従業員はその辛さを知っていて、ストライキ状態になったとのこと。困った知人の社長は私のところまでやってくれないかと頼み込んできました。何とか人員を確保することが出来たのでやることにしました。私を含めて六人いたと思います。仕事はスリングした木道をアサツキガ原で受けることです。スリングしてきたモッコに入った四、五基の木道を受け次のヘリが来るまでモッコを解いて一基ずつ運びその場からシフトす

第116号

2021.10.10 発行
(令和3年)

ユウパリコザクラの会
事務局(菊地)
〒069-0835
江別市文京台南町53-13
FAX 011-387-1385
携帯 080-6090-1839
E-mail
info@yuparikozakura.org
Website
http://yuparikozakura.org
ようこそ花の夕張岳へ



https://www.facebook.com/yuparikozakura/

ることです。ヘリは駐車場の通称ヘリポートからです。あつという間に二便、三便と飛んできます。雪が降ったアサツキガ原はぬかるみがひどく、一基二百キロ程ある木道は六人でも持てないくらいです。もう歩けないと私のいとこが嘆いたのを覚えています。ヘリの轟音と強風、ひどいぬかるみ、寒さそして重さ・・・今では遠い昔の話のように思います。工事確認の写真撮影にも請負業者は行かず、前事務局長の水尾さんが一人で登り撮影してきました。この話は今大変老朽化している桁をはいている木道の手前までの木道のことです。冷涼な高原なのでそんなに腐食はしないと思っていましたが、意外や随分痛んでいました。どこの木道も動植物の保護のためか、防腐剤は塗布していません。我々の自然保護監視員や事務局長等が少しずつ手を入れ補修していますが、設置した関係機関が現状を把握し予算を付けて補修してもらいたいと思います。我也会特に危険と思われるところは出来るだけ補修していきたいと思います。

高層木道補修作業 2021.8.22



前後の木道に固定して橋渡しする



落下してしまった高層木道(釣鐘岩手前)

長さ230cm 約30kgの木材を担いで運ぶ

の踏みつけから守るためです。安易に植物を踏みつけないようにしてもらいたいものです。話は変わりますが新型コロナウイルス蔓延による緊急事態宣言の発令などで、延び延びになっていた前岳湿原の不要木道の整理事業の初年度作業である木道の撤去作業ですが、来年度下る段階取りをつけてきました。登山者の協力を仰ぐことですが、もちろん我々も機会あるごとに搬出を考えて登ってもらいたいと思います。新型コロナウイルスで一昨年、今年と二年通常の年とは相違しましたが、ネバーギブアップで頑張り、そして楽しんでいきましょう。

前岳湿原木道整理事業（1年目）

2年計画のこの事業も、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の発令などがあり、1年スライド延長されて、今期に1年目の作業が行われた。植生は簡単な理由で衰退や後退を繰り返します。時にはオーバーユースや雨水による洗堀が要因として考えられますが、夕張岳においては、木道の設置のあり方なども以前から指摘されていた。

夕張岳の前岳湿原付近は、富良野芦別道立自然公園の第1種保護地域、ならびに国の天然記念物指定（夕張岳の高山植物群落および蛇紋岩メランジユ帯）がされており、希少植物も生育している場所である。木道の複線化で広がってしまった登山道は裸地を産み、植生も後退している部分も多い。まずは腐った不要の木道を整理して、登山者の安全な歩行を確保するとともに、失われた植生の復元を図るべく事業は計画された。植生を元のとおり再生させることは困難な課題であるが、部分的にでも人の手をもって「後退した植物の再生」が実現された時は、同様の課題を持つ地域や団体に影響とプラス効果があると思われれます。

事前に高山植生が専門の北海学園大学の佐藤謙先生にご同行いただいて、現場となる前岳湿原の現況を確認していただいた。作業時の注意事項や廃材のストック場所など細かい指示をいただいた。その後、撤去対象の木道のマーキング処理を行ったあと、8月29日に、総勢13名で作業を行った。事前に班分けを行って、撤去班・運搬班・解体班に役割分担したが、始めて見ると金属のボルトナットの取り外しが一番時間がかかり、その場で専用班ができた。予定されていた時間よりも早く作業は終了した。



前岳湿原の作業場所の様子



撤去対象の木道



付近の植生に気を使いながら作業する



掘り起こし作業は順調に進んだ



木道跡には別の木道を移植した箇所も



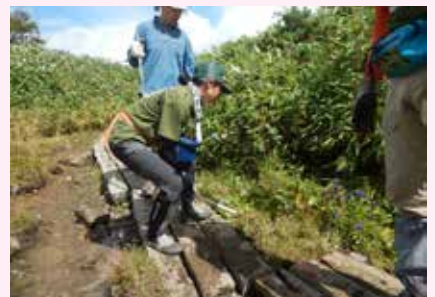
撤去跡の植物は来年度に選別し移植



木道を繋ぎとめているボルトナットの取り外しが工具が足りず、一時ボトルネックに



運びやすい大きさと重さに切りそろえる（チェーンソーでの作業）



深く埋まってしまっているものもあった



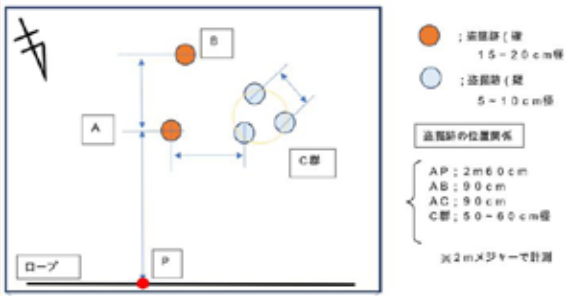
堆積場所に集められた木道の端材の山

高山植物の盗掘が相次ぐ

非常に残念なことはありませんが、夕張岳において高山植物の盗掘が相次いで発生しました。

以下、会員で自然保護監視員の谷口さんのレポートより図と報告文を引用させていただきます。

『令和3年6月21日（月）、午前10時半頃、夕張岳登山道「吹き通し」において盗掘が疑われる事案発生。第一発見者は留萌市在住佐藤圭氏。容疑者は中年女性単独。怪しい服装と行動の容疑者を目撃した佐藤氏は声掛けと所持品検査を実行。盗掘用と思われる装備を確認したが植物は見つからず。容疑者を最初に見掛けた場所を再確認したところ掘り返しと思われる跡を発見。下山後、夕張市、森林管理署、ユウパニコザクラの会に報告。翌22日、前事務局長の水尾氏より谷口に電話連絡あり。同日夕方、谷口より佐藤氏本人に電話連絡し詳細を聞き取り。さらに翌日の23日、谷口より空知総合振興局へ報告。26



日、谷口単独パトロールにて目視で盗掘跡確認。コザクラの会代表藤井氏に報告とともに対応を相談。30日、南部駐在所を訪問。7月1日、振興局主催の官民合同パトロールにて振興局職員とともに現場確認。前出の水尾氏より盗掘跡の記録法について助言を受け、7日に再度単独パトロールにて現場の実地検分を実施。』



望岳台の盗掘現場



盗掘跡

2度目の盗掘は程なく起こってしまいました。7月18日に高山植物盗掘防止パトロールを当会メンバーにて実施中に登山道中間地点の「望岳台」にて再度盗掘跡と思われる跡を確認することになる。同月13日に谷口さんが単独でパトロール中に5株のカノコソウを確認していたが、その日は2株しかない事に気づき、株があつた場所を確認したところ、明らかにスコップのようなもので株ごと盗掘された跡3か所を確認した。後日植物の専門家の佐藤謙先生にも現場を確認していただいたが、人間による盗掘跡で間違いは無いという事。カノコソウは北海道指定の希少植物のリストには入っていないが、現場は保護林の範囲内であり、天然記念物エリア内であることから、当然動植物の無許可の採取に関しては規制されている。



吹き通しの盗掘跡の1か所



警察の協力で監視強化中の張り紙を登山口ポストに貼ってみたが

北海道の山岳で見られる高山植物の多くを見る事ができ、さらに多くの植物には適していない蛇紋岩由来の土壌に適した夕張岳固有の植物が加わることで、他ではみられないほどの豊富で多様な様相を呈している高山植生を持つ夕張岳。これは夕張岳が天然記念物として認められる事になった要因ですが、半面高山植物の愛好園芸家にとっても宝の山になってしまっているのでしょうか？そのようなことは信じたくありませんが、現状として起こってしまっている現状を踏まえ、来年度からも盗掘防止パトロールにも、定点での株カウントなども加えていきたいと考えています。

採用されませんでした。北海道新聞の「読者の声」に投稿した文章を載せました。

「山で今起こっていること」 江別市 菊地 宏治
7月14日から17日の間で、夕張岳某所で高山植物を盗掘された方、盗掘した植物は無事に移植できましたか？それとも、もう転売されましたか？ ちょうど開花したての状態で見ごろを迎えていたと思います。その植物が花をつけるのを毎年楽しみに登山されている方が、どれだけいるかご存知でしたか？毎週のように登って変化を観察している方がいるのを知っていましたか？無抵抗の自生植物を株ごと掘り起こし持ち去って、心は晴れ晴れしていますか？シカの食害を受けにくいぎりぎりの場所、ようやく株も増えてきた矢先の盗掘。苦勞して行ってお目当ての花が盗掘されて無くなっている虚しさ。育てたのは自然ですが、我が子をさらわれたように気分が落ち込みます。近年、山行記録を位置情報付き写真と一緒にSNSで報告する仕組みが発達し、悪意のない投稿でも植物の位置がピンポイントで特定できてしまう時代。無防備の山の生き物たちに、もう少しいたわりを持って接したいものです。

今後のスケジュール（予定含む）

月	日	各行事内容
10	23日（土）	自然保護連合フォーラム（帯広） ”いま国立公園を考える”
11	未定	北海道高山植物保護ネット 市民フォーラム（オンライン開催検討中）
12	未定	冬季ヒュッテ巡視
1	未定	冬季ヒュッテ巡視
2	未定	冬季ヒュッテ巡視
3	19（土）～21（祝） ※予定	春山パトロール
4	未定	前岳湿原木道整理事業2カ年目計画打ち 合わせ（札幌エルブラザ）

※新型コロナウイルス関連の国や北海道などの緊急事態宣言や要請により、予定は変更や延期になる可能性があります。

鹿島眺望公園に夕張岳の看板設置



国道452号線から登山道に入るポイントにある鹿島眺望公園に夕張岳を紹介する観光看板が設置されました。花博記念協会から助成金をいただき、コザクラの会が内容を考案・編集をして夕張市に現場設置していただきました。縦90cm、横180cmの対候性のある看板になります。ドライブルートにあり立ち寄る方も多いので、夕張岳の知名度向上に役立つことでしょう。“あの山なんの山？”という疑問にお答えします。

炊事棟暖房設備増強工事等の進行状況

ヒュッテ炊事棟の暖房は、旧プレハブ時代に使用していた薪ストーブで賄っていましたが、基礎工事時にしっかりとした断熱を施していましたが、比較的小さなストーブでも暖はとれていました。しかしストーブ自体の老朽化により、煙漏れなどが頻繁化して、一晩過ごすとすべてが煙臭臭くなっています。

会員の要望もあり、「暖炉」を新築して備えることにしました。五右衛門風呂の煙突も度々風などで壊れたりしており、抜本的に見直すいい機会となり、しっかりとし



炊事棟の暖炉工事
風呂の煙突との接続も兼ねて工事を進めています。

外装もしばら



く手つかずでしたが、下見板貼りなどの作業も進めています。しかし北米での木材価格の急騰（ウッドショック）により、世界的な木材の高騰が続いていて材料費もかさばります。昨年から今年にかけて、ヒュッテの敷地内のぬかみ解消と、テントスペースのかさ上げの為、小石



テントスペースも充実

中心の碎石をかき入れ、量運び入れました。コロナ禍でしたが、地道に作業は進め、テントスペースとしての充実化も並行して行っています。

会費の継続納入・ご寄付
ありがとうございます！

夕張岳の自然に興味のある方、当会の活動に関心をお持ちの方は、ユウパニコザクラの会へ入会またはご寄付をよろしくお願い致します。

年会費 2,000円 家族会員 3,000円

名義：ユウパニコザクラの会

ゆうちょ口座：02780-9-43747

【お仕事の例】

- ・監視パトロール（道委託 / 森林管理署協定）
- ・ヒュッテ管理人・維持管理（夕張市委託）
- ・高山植物観察員 / 文化財・森林観察員
- ・各関係団体との交流 / 広報・庶務作業



夕張岳ヒュッテの維持管理
と炊事棟建設にご支援を！



今年度は北海道も2度の緊急事態宣言の発動がありました。夕張市からの要請もあって宿泊予約を自粛していた時期も多く、宿泊協力金も大幅減となりました。しかしヒュッテの募金箱や募金口座などにたくさんの温かい寄付をいただきました。来年度に残る行事が無事できるように、新型コロナウイルスの終息を願いたいと思っております。



名義：ユウパニコザクラの会

ゆうちょ口座：02780-9-43747

（ヒュッテ用口座はコザクラ口座に統一されました）